

1. 働き方改革の意義

なぜ「働き方改革」が必要か？

我が国は今、急速に少子高齢化が進んでおり、労働力人口の減少が見込まれている。

このような中で、経済を持続的に発展させるためには……
働きたいと希望する方すべてが活躍できるようにするとともに、
働く人一人一人の生産性を高めていくことが不可欠。

しかし働く現場ではさまざまな**問題**があります。これを見直していこうというのが「**働き方改革**」。

少し詳しく言えば……

- 少子化・人口減少の中で、我が国がGDP600兆円を達成し経済成長を維持・拡大させるためには……
→個々の労働者の生産性をあげること、高齢者や女性の活躍機会を拡大すること、出生率の向上を図ること、生産性の高い分野へ労働力を移動させることなどが必要
- 働くことを通じた生活の豊かさが実感できるようにするためには……
→非正規雇用の処遇改善、長時間労働の是正などの、雇用環境の改善を図らなければならない(=日本的雇用慣行の行き詰まりを改革)

<経緯> H27.9 アベノミクス新三本の矢(GDP600兆円、希望出生率1.8、介護離職ゼロ)
H27.10「一億総活躍国民会議」設置
H28.6「日本再興戦略2016」「ニッポン一億総活躍プラン」
H28.9「働き方改革実現会議」設置
H29.3「働き方改革実行計画」策定

「働き方」の何が問題か？

例えば・・・

「長時間労働」が問題

長時間労働は、健康の確保を困難にします。また、仕事と家庭生活との両立を困難にし、少子化の原因や、女性のキャリア形成を阻む原因、男性の家庭参加を阻む原因ともなります。

長時間労働を自慢するかのよう
な風潮が蔓延・常識化している
現状を変えていく

長時間労働を是正すると、ワーク・ライフ・バランスが改善し、女性や高齢者も仕事に就きやすくなり、労働参加率の向上に結びつきます。時間当たりどれだけの成果をあげるかに意識が向かい、労働生産性向上につながります。

「正規・非正規の不合理な処遇の差」が問題

正規・非正規労働者の間に不合理な処遇の差があると、「非正規」労働者は正当な処遇がなされていないという気持ちとなり、頑張ろうという意欲をなくしてしまいます。

世の中から「非正規」という言葉
を一掃していく

正規と非正規の理由なき処遇の差を埋めていくと、働く人の頑張ろうという意欲を引き出すことができ、それによって労働生産性の向上が期待できます。

「単線型の日本のキャリアパス」が問題

ライフステージに合った仕事の仕方を選択しにくい。中高年になると再就職がしにくい。再チャレンジしにくい。

単線型の日本のキャリアパスを
変えていく

転職が不利にならない柔軟な労働市場や企業慣行を確立すれば、自分に合った働き方を選択して自らキャリアを設計可能に。付加価値の高い産業への転職・再就職を通じて国全体の生産性の向上にも寄与。

「働き方改革」の具体的テーマは・・・

「働き方改革」の具体的テーマとしては、長時間労働の是正のほか、次のようなものがある。

1. 長時間労働の是正

- ・時間外労働の上限規制の導入(法改正予定)
- ・勤務間インターバル制度導入に向けた環境整備
- ・健康で働きやすい職場環境の整備 など

2. 非正規雇用の処遇改善

- ・同一労働同一賃金の実効性を確保する法制度とガイドラインの整備
- ・非正規雇用労働者の正社員化などキャリアアップの推進 など

3. 賃金引上げと労働生産性向上

- ・生産性向上の支援による賃上げ環境の整備 など

4. 女性・若者が活躍しやすい環境整備

- ・女性活躍の推進
- ・就職氷河期世代の正社員採用 など

5. 子育て・介護等や病気の治療と仕事の両立、障害者就労の推進

- ・子育て等・治療と仕事との両立支援策の推進
- ・障害者就労支援の推進 など

6. 柔軟な働き方がしやすい環境整備

- ・テレワーク など

7. 雇用吸収力の高い産業への転職・再就職支援、人材育成、格差を固定化させない教育の充実

- ・中途採用の拡大
- ・給付型奨学金 など

8. 高齢者の就業促進

- ・65歳までの継続雇用と65歳以上の就業機会確保 など

9. 外国人材の受入れ

- ・外国人材の受入れ環境の整備 など